

# ひきこもりに関するアンケート調査について

大阪府青少年・地域安全室 青少年課

本調査は、大阪府内で活動されている民生委員・児童委員のみなさまにアンケートにご協力頂き、ひきこもり等青少年の把握状況やお考えを集約するものです。

尚、調査結果については、府内市町村や民生委員・児童委員のみなさまに情報提供させていただきます。

## 1 調査スケジュール

平成29年 4月 アンケート調査票作成  
5月～7月 アンケート調査開始（調査票の配付・回収）  
8月～9月 集計  
10月 単純集計結果の報告（中間報告）  
平成30年 3月 調査報告書作成

## 2 調査の配付・回収

### ① 配付

大阪府青少年課より、各市町村民生委員協議会事務局あて、調査票をお送りします。  
各市町村民生委員協議会事務局より、民生委員・児童委員全員へ配付をお願いします。

### ② 回収

各市町村民生委員協議会事務局が回収で上、下記委託事業者まで着払いにて郵送をお願いします。

#### 【郵送先】

〒599-0301  
大阪府泉南郡岬町淡輪710-2  
特定非営利活動法人Re-Live

#### 【郵送方法】

最寄りの郵便局又は※コンビニにて、着払いゆうパックを使用し郵送してください。  
※ローソン、ミニストップに限ります。ご注意ください。

#### 【期限】

平成29年7月31日（月）までに郵送をお願いします。

平成29年度

困難を有する若者に関するアンケート調査事業

# ひきこもりに関する アンケート

## 調 査 票

### 1 調査の対象

この調査は、次に該当するような方を「ひきこもり」とします。

#### (1) おおむね 15 歳から 39 歳までの方で、次のいずれかに該当する方

- ① 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヶ月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方
- ② 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々買い物などで外出することもある方

#### (2) 40 歳以上であるが、おおむね 15 歳から 39 歳までの間に上記①②のいずれかに該当する状態になり、そのまま現在に至る方

※ ただし、重度の障がいや重度の疾病で外出できない方を除きます。

### 2 調査対象地域

あなたが民生委員・児童委員として担当しておられる地域とします。

### 3 調査の基準

平成 29 年 5 月現在とします。

※ 現在把握されている情報でご記入ください。当アンケート調査への回答のための戸別訪問や関係先等への照会は行っていただく必要はありません。

※ 平成 28 年 12 月の改選で民生委員・児童委員になられた方は、前任の方から引き継がれた情報や、平成 29 年 5 月現在までの活動で把握した情報を記入してください。

### 4 調査結果の取り扱い

調査結果は、市町村別・年齢別・支援の必要性などにより集計の上取りまとめます。

個々の民生委員・児童委員の方の回答が公表されたり、取材等に応じる形で外に出ることはありません。

市(区)町村名【                      】 地区名【                      】

民生委員・児童委員 【 1. 区域担当      2. 主任児童委員      】

(いずれかを○で囲んでください)

平成 29 年度 困難を有する若者に関するアンケート調査事業  
大阪府青少年・地域安全室 青少年課健全育成グループ  
TEL : 06-6941-7681

問1 あなたの担当地域で、次に該当する方を把握しておられますか。

(1) おおむね15歳から39歳までの方で、次のいずれかに該当する方

- ① 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6ヶ月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方
- ② 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々買い物などで外出することもある方

(2) 40歳以上であるが、おおむね15歳から39歳までの間に上記①②のいずれかに該当する状態になり、そのまま現在に至る方

※ ただし、重度の障がいや重度の疾病で外出できない方を除きます。

※A, Bいずれか該当する項目を○で囲んでください

- A 把握していない ⇒問2へお進みください。
- B 把握している ⇒問3へお進みください。

問2 問1で「把握していない」とお答えの場合、その理由をお教え下さい。

※該当する項目を、○で囲んでください。(複数回答可)

- A 民生委員・児童委員に就任したばかりで、地域の状況をまだ把握できていないため
- B オートロックマンションの普及等で状況把握が困難となっているため
- C 担当地域にはおられないと思うため
- D その他

⇒問4にお進みください。

問3 問1で「把握している」とお答えの場合、その方の状況をお教えください。

- 該当する方お一人につき、次ページの表の1列をお使いください。
- 該当する項目について、○で囲むか、[ ]内に記載ください。
- 1世帯に2人以上おられる場合は、1人につき1列をお使いください

※5人分あります。具体のご氏名は記入しない様をお願いします。

- 該当する方が多く、用紙が足りない場合は、次ページ以降をコピーしていただくか、調査の事務局(大阪府青少年・地域安全室青少年課 電話06-6941-7681)にご一報ください。該当部分の用紙をお送りいたします。

※該当する箇所を○で囲んでください

項目	該当者A	該当者B	該当者C	該当者D	該当者E
該当する方の性別	男性・女性・不明	男性・女性・不明	男性・女性・不明	男性・女性・不明	男性・女性・不明
該当する方の年齢 ※お分かりでない場合は、推測で結構です ので選択ください。	15歳～10代まで 20代(前半・後半) 30代(前半・後半) 40代(前半・後半) 50代・60代以上	15歳～10代まで 20代(前半・後半) 30代(前半・後半) 40代(前半・後半) 50代・60代以上	15歳～10代まで 20代(前半・後半) 30代(前半・後半) 40代(前半・後半) 50代・60代以上	15歳～10代まで 20代(前半・後半) 30代(前半・後半) 40代(前半・後半) 50代・60代以上	15歳～10代まで 20代(前半・後半) 30代(前半・後半) 40代(前半・後半) 50代・60代以上
該当する方の家族構成 (同居する家族の方を選択して下さい。 複数回答可)	父 親・母 親 祖 父・祖 母 兄 弟・その他	父 親・母 親 祖 父・祖 母 兄 弟・その他	父 親・母 親 祖 父・祖 母 兄 弟・その他	父 親・母 親 祖 父・祖 母 兄 弟・その他	父 親・母 親 祖 父・祖 母 兄 弟・その他
該当する方の状況 ①6ヶ月以上ひきこもっている ②ひきこもってはいるが、買い物程 度には出る	① ②	① ②	① ②	① ②	① ②
ひきこもっている期間 ※お分かりでない場合は、推測で結構 です。選択ください。	3年未満 3～5年未満 5～10年未満 10年～20年未満 20年～30年未満 30年以上 不明	3年未満 3～5年未満 5～10年未満 10年～20年未満 20年～30年未満 30年以上 不明	3年未満 3～5年未満 5～10年未満 10年～20年未満 20年～30年未満 30年以上 不明	3年未満 3～5年未満 5～10年未満 10年～20年未満 20年～30年未満 30年以上 不明	3年未満 3～5年未満 5～10年未満 10年～20年未満 20年～30年未満 30年以上 不明

⇒次のページへ

※該当する箇所を○で囲んでください

項目	該当者A	該当者B	該当者C	該当者D	該当者F
ひきこもりなどにいたった経緯 (お分りになる範囲で結構です)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
① 不登校 ② 中退 ③ 就職できなかった ④ 就職したが失業した ⑤ 家族関係の問題 ⑥ 分からない(知らない) ⑦ その他(経緯をカッコ内に簡単に ご記入ください)	( )	( )	( )	( )	( )
その方への支援の状況 (お分りになる範囲、推測でも 結構です。複数回答可)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
① 医療機関等の精神医療等の支援 を受けている ② 行政機関等の支援を受けている ③ NPO等の支援を受けている ④ 分からない ⑤ 上記機関の相談は受けている が、解決できないで困っている。 ⑥ 民生委員とのかかわりがある。 ⑦ その他 (⑤⑥⑦は状況をご記入ください)	( )	( )	( )	( )	( )
その他 当該者に関して、特記事項があ れば、自由にご記入ください。					

⇒問4にお進みください

問4 担当地域のことにかかわらず、困難を有する若者等への支援策として、必要だと思われることをお答えください。

※A～Hの該当する項目を○で囲んでください（複数回答可）

- A 専門的な医療支援・カウンセリング等の充実
- B 総合相談窓口の充実
- C NPO など多様な支援団体の充実
- D 支援・相談窓口の周知・PR
- E 家族支援
- F 学校・スクールソーシャルワーカー（SSW）との連携
- G コミュニティソーシャルワーカー（CSW）等と連携した訪問型支援  
(※「等」には、例えば生活困窮者自立支援制度の相談員が含まれます)
- H 他人とコミュニケーションを図ることが出来る居場所（学校・職場以外）
- I その他

[ ]

上記の支援策が必要だと思われた理由を簡単にご記入ください

[ ]

問5 その他、ご意見やお気づきの点がございましたら、自由にご記入ください。

[ ]

※ひきこもりだった若者等が社会参加（アルバイト、就職、復学等）するようになった事例などもご記入ください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。